

平野健一郎●

くりかえす義歯破折や痛み、その現症が横向き寝と結びついた時、長い間の悩みが霧消した瞬間だったと著者（筒井照子氏）は言います。

右横向き寝によって“外からの力”が右上顎臼歯にかかる。そうすると歯が口蓋側に傾斜する。また、押された義歯が左下舌側粘膜を傷めていた… たったそれだけの事。

「健やかな咬合育成を損なわせるものはなんなのだろう？ 何が咬合崩壊を後押ししているのだろうか？」……ずっと筆者が抱き続けてきた疑問への答えとして、そのかなりの部分が態癬だと分かったのです。

「お口の健康を保つには顔・からだのバランスからケアする事」、言い換えれば「顔・からだのバランスケアからお口の健康を捉える」という著者のライフワークともいえるテーマが、現実味を帯びて筆者の視界の中に入ってきたのもその頃であり、そしてそれがかたちになったのが本書です。

本書を介して「どうしてこうなってしまったんでしょう？」などと患者さんと話し合っていると、はじめのうちは「へえ、そうなんだあ」なんて他人事みたいに言っていた方が、「ああ、そういえばそうかもね」、「そうだ、そうなんだよね！」といったように少しずつ変わっていきます。

自分で態癬を発見した人の多くは、自分が抱えてきた問題と態癬との間のつながりに気付くようになります。そして「私をこんなにしたのも私、治すのも私なんですね!？」なんて言いながら自分から治したいと思いはじめ……。

似たような話、どこかで経験したことはありませんか？ そう、歯周治療のシーンとそっくりです。

カリエスや歯周病の原因は細菌であって、TBIが原因療法である事、そしてその事への理解と実践は患者自身を助ける事につながります。

また態癬は、健やかな咬合育成を阻み、咬合崩壊を影で後押しし、その態癬へのアプローチが原因療法として重要な意味を持っている事、そしてその事



顔・からだバランスケア
お口の健康を保つために
筒井照子 著

A4判変型 40頁 定価2,940円（本体2,800円＋税5%）

医歯薬出版株式会社刊

目次

はじめに
口・顔・からだ
歪みの正体
歪みの影響
バランスケアは元気の素

への理解と実践は患者自身を助ける事に……このように、両者へのアプローチが患者に与える影響は本当にそっくりです。

炎症のコントロールとTBIとの関係、力のコントロールと態癬との関係、これらがほとんど相似の関係にあるのですから当然といえば当然かもしれません。

咬合崩壊を読み解くうえで、咬合育成や咬合再構成の要素として、またMIという観点からみてもその鍵を握る存在として態癬がこれから大きくクローズアップされるのは間違いないでしょう。本書がその発火点となるかも……と予感するのは筆者だけでしょうか？

(ひらのけんいちろう 〒745-0831 山口県周南市
楠木1-8-11 平野歯科医院 Tel：0834-28-5555)